

事業計画書概要版

(1) 市民の平等な利用に関すること

- 申請団体が有する柔軟な運営体制と幅広いネットワークを活かし、5つの基本方針に基づき、市民の平等利用の確保や相談要望等への適切な対応に努める。

【基本方針】

- ・公平性と平等性の確保
- ・施設の価値最大化と未来への投資
- ・経済的視点と自立的運営
- ・「安全・安心・快適」を軸とした安定運営
- ・地域とともに成長する施設運営

(2) 施設効用の発揮に関すること

- 利用者ニーズを的確に把握し、サービスや利便性向上を目的とした広報PRや各種事業を実施する。

【実施予定事業（抜粋）】

※スポーツをする・観る・支えるの視点から各種事業を展開

- ・スポーツキャンプ・大会等誘致事業
- ・競技スポーツ強化促進事業
- ・公園見学ツアー
- ・スポーツ用品譲渡会
- ・各種健康教室、スポーツ教室
- ・フードパートナー事業

- また、安心安全の拠点としての観点から、適切な災害対応や避難所運営体制の構築に努める。

(3) 経済的な管理運営に関すること

- 日常管理業務の効率化を図るため、業務フローの継続的な改善、人的配置の最適化、維持管理の効率化に努める。

【具体的な取組】

- ・ペーパーレス、電子決裁等のデジタル化を推進
- ・利用スケジュールや業務量に応じたシフト調整及び適正配置

- 費用対効果を意識しながら光熱水費や修繕費を削減しつつ、利用者サービスや安全確保に必要な投資を行う。

(4) 安定的な施設の管理運営に関すること

- 類似施設管理運営実績に基づく確実な収支計画の策定を行い、管理運営計画全体の実効性と持続可能性を確保する。

【類似施設の管理実績】

- ・令和5年4月～ 山之口運動公園及び都城運動公園の管理運営受託
- ・令和7年4月～ 宮崎県山之口陸上競技場及び投てき練習場の管理運営受託
- 応募施設を一括して管理する体制を整えるとともに、既に申請団体が、山之口運動公園内に整備された県所管施設の管理業務を受託している強みを活かし、市・県双方との連携を含めた広域的かつ柔軟な人員運用を行う。

(5) 地域貢献に関すること

- 地域における雇用機会の創出と人材育成、施設維持管理や各種業務においては地元業者の活用を推進し、地域経済の循環と発展に寄与する。
- 高齢者や障がい者を含む多様な人々の社会参加、青少年の健全育成、環境配慮をはじめとする持続可能な取組を推進し、地域住民の暮らしに還元する。

【具体的な取組】

- ・スポーツボランティアの育成
- ・幅広い方を対象とした軽運動プログラムや健康教室の実施
- ・植樹植栽活動や芝生保全活動について、地域住民や学校と連携して実施

(6) その他、公の施設を管理するに当たり必要な基準に関すること

- 国スポ・障スポ大会開催準備から終了後について
- 国スポ・障スポ大会に必要な水準を満たすため、施設の改修・整備を計画的に進め、安全で快適な環境を提供する。
- また、関係団体と連携し、大会運営を支える体制を整備するとともに、機運醸成を企図したPR等も積極的に実施する。
- 大会終了後については、施設の高度化、人材やネットワークの蓄積、開催地としての地域ブランド形成を3本柱として、長期的な施設の発展につなげる。

●県施設との一体管理

- 申請団体が一体管理を行うことで、管理主体の違いによる様々な課題を解消し、利用者にとって利便性の高い環境を構築する。

【具体的な取組】

- ・様式、手続き等の統一
- ・市県の枠を超えた合同イベント、合宿の誘致
- ・物品の一括購入や共同利用など維持管理業務の統一化
- ・利用者の総括窓口として、市県との調整を実施
- ・災害時における公園全体のマニュアル等の整備、運用